

# 男女共同社会の実現をめざし

豊島区婦人問題懇話会

一九四六年に、国連婦人の地位委員会が設置されたことにより踏み出した男女平等への第一歩も、「国連婦人の十年」を経て、着実にその成果をあげてきました。区においても婦人問題の担当部署が設置され、さらに婦人関係行政を充実していくために、豊島区婦人行動計画の策定が決定されました。

## 婦人問題解決に向けての 3つの柱にもとづく90の提言



藤竹会長から加藤区長に提言が手渡された。

今後、この提言を十分に生かして行動計画を策定していくわけですが、策定に際しましてはその原案を区民の皆様にお示しし、ご意見を聴き取りたいと考えております。

豊島区婦人問題懇話会は、区における婦人施策のより一層の充実を図るために、区長から諮問をうけ、発足しました。

### 提言にあたって (要旨)

豊島区婦人問題懇話会会長 藤竹 暁



区がこの提言内容を十二分に斟酌され、その趣旨を尊重して、豊島区婦人行動計画を策定されることを期待しております。

### 基本的な考え方 (要旨)

われわれは平和を希求する日本人として、この提言を行う。本懇話会は、すべての人間は、その人独自の人生をまっとうできる社会を建設することが最要課題であると考えている。人間として尊厳をもって生きることができ、人間は、男女共同社会と呼ぼう。われわれの目標は、男女共同社会を創造することである。

われわれは、性、年齢、身体的条件、社会的立場等の違いにかかわらず、すべての人間が自らの判断にもとづいて生きることを自立と呼びたい。自立とは、人間が尊厳をもって、独立的人格を確保することである。本懇話会は、自立を妨げている経済的、政治的、社会的、文化的障害を取り除くことを討議の重要課題とした。

1 人間は自立しなければならぬ。われわれは、性、年齢、身体的条件、社会的立場等の違いにかかわらず、すべての人間が自らの判断にもとづいて生きることを自立と呼びたい。自立とは、人間が尊厳をもって、独立的人格を確保することである。本懇話会は、自立を妨げている経済的、政治的、社会的、文化的障害を取り除くことを討議の重要課題とした。

2 人間は社会に参加しなければならぬ。その人間にもっとも適した活動の場が保障され、その結果として、社会的活動を自由に行ううえでの権利と義務がその人間にふさわしく行使できることをわれわれは参加と呼ぶ。したがって参加は、自立した人間が男女共同社会の構成員となることを意味している。

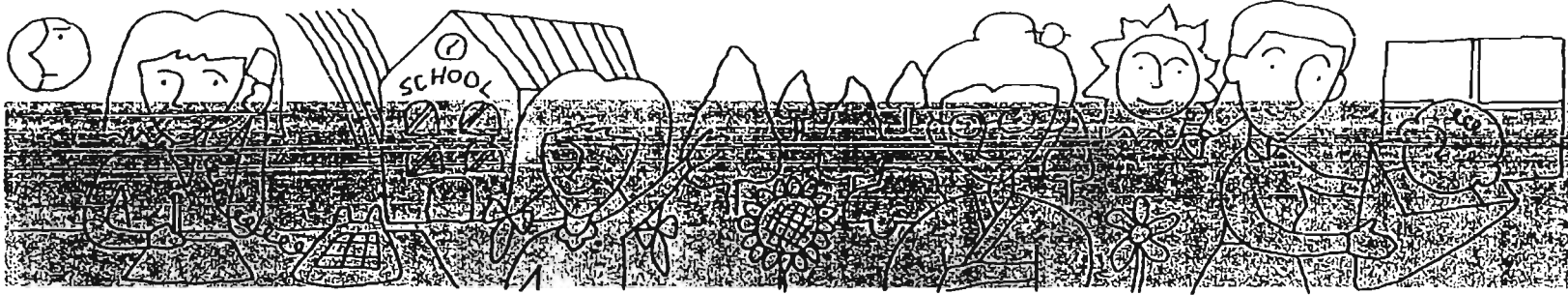
3 人間は共生しなければならぬ。人間はお互いに依存しつつ、かつ独立した生活を営むことができ、そしてそこに、平等を基礎にもつ人間の共同体が生まれる。

4 提言にあたって 自立、参加、共生は、本懇話会が提唱する、これからの新しい社会の3つの柱である。

女性の自立のために

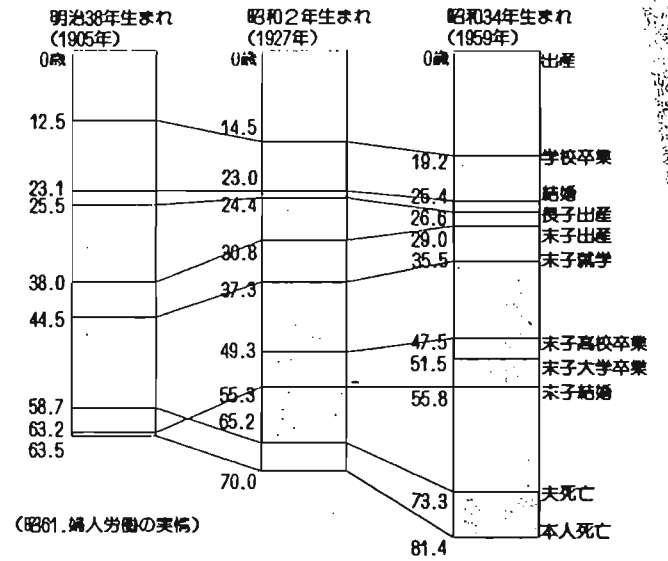


要町保育園の園児たち



# 提言の体系

### 女子のライフサイクルの変化



## 課題と現状 (要旨)

日本社会におけるめざましい構造変化は、男・女性をとりまく環境にもさまざまな変化をもたらしています。

とくに、女性をとりまく変化に注目してみますと、

(1) 高齢化社会の進行と女性のライフサイクルの変化

平均寿命の伸びは高齢化の促進、ライフサイクルの変化となり、高齢女性のひとり暮らしの増加、それともなう生活問題、また、核家族化の進行等による家庭機能の弱体化と相まって介護者問題を引き起こすなど、女性の自立に深いかかわりをもたらしています。

(2) 経済構造の変化と女性労働

昭和50年代以降、女子雇用の伸びは著しいものがあります。それは、経済全般にわたる構造変革の中で産業構造の変化と女性の就業意欲の向上によるものとみられます。しかし、職場においては、男女の賃金・昇進格差、女性のみみられる退職制度等、依然として男女差別が存在しつづけています。すべての人がいきいき生活するために、経済的要素を直視して解決

# 女性の参加のために

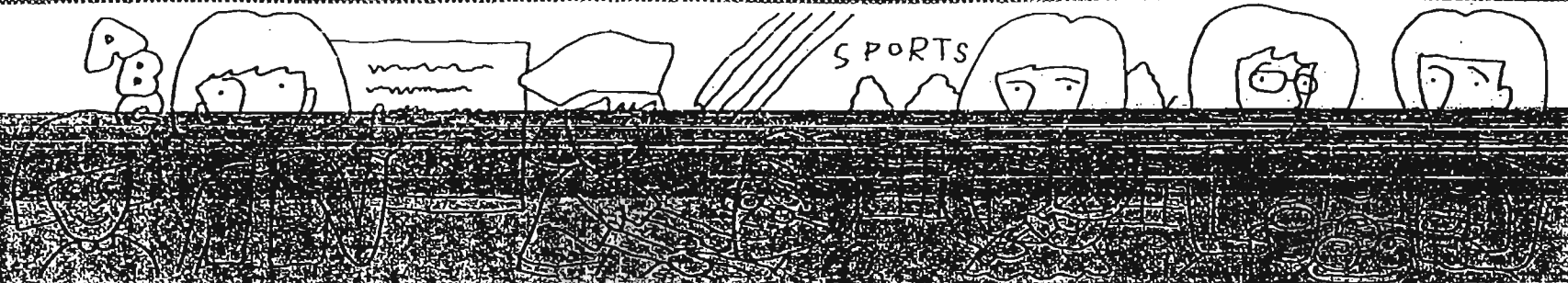


輸入赤十字血液センターの赤坂さん

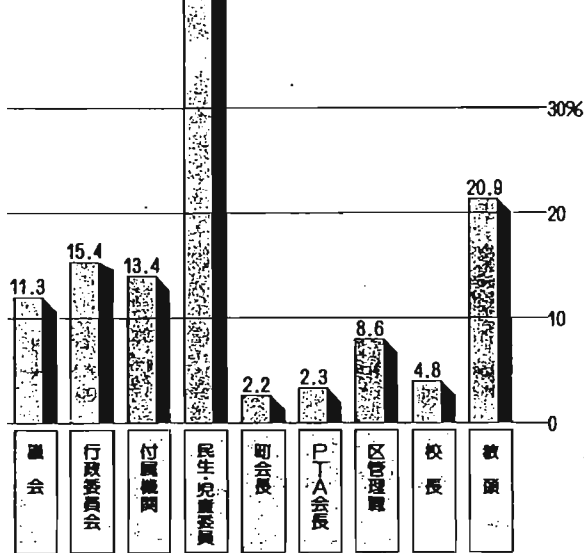


千早社会教育会館で製作に勤む千早七宝の皆さん





区における意思決定機関への女性の参加率 (62.8現在)



の歩を進める必要があります。 (3)女性の教育と意思決定過程への参加 高学歴化の傾向も著しいもの...

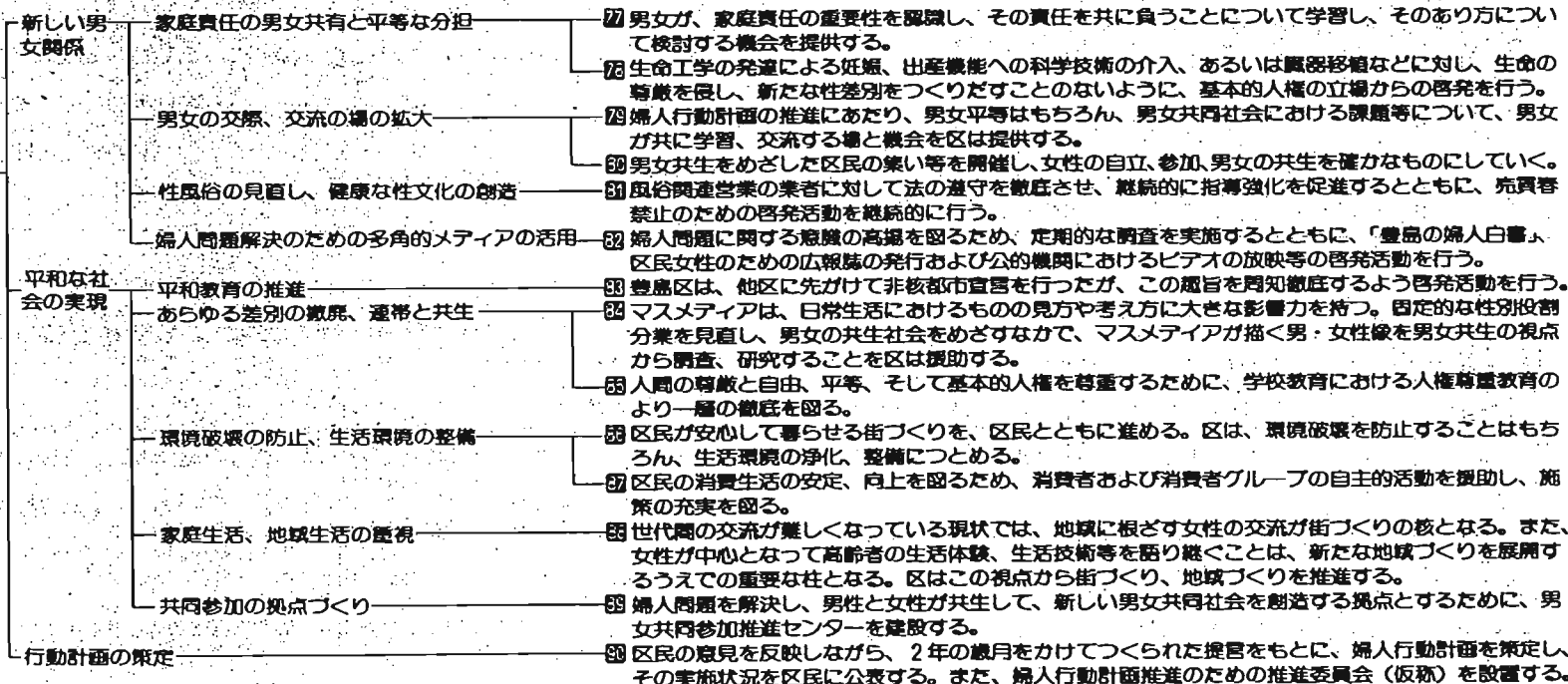


乳幼児健診に訪れた長井さん親子



豊島区軟式野球連盟の皆さん

男女の共生をめざして



豊島区婦人問題懇話会委員

- List of committee members including 会長 藤竹 咲 (Faculty of Keio University), 副会長 金平 輝子 (Former Director of Tokyo Metropolitan Welfare Council), and others.

提言本文は、図書館、情報公開コーナーにありますので、ご覧下さい。 また、わすかですが残部がございますので、ご希望の方は係までお申し出ください。